

令和2年度

Team 五中 プロジェクト

調布市立五中学校 学校経営方針

教育目標

知

・自ら学ぶ人になろう
・(積極性・自主性・自律性)

体

・心と体を鍛えよう
・(強い意志・忍耐力・強健な体力)

徳

・思いやりと助け合う心をもとう
・(協力心・責任感・奉仕の精神)



目次

- I はじめに
- II 学校経営の基本
- III 学校経営の重点
- IV 令和2年度 重点指導内容
- V 月毎の指導の重点と目指す生徒の姿

- ☆ 生徒が輝く学校
- ☆ 保護者が生徒を通わせたい学校
- ☆ 教職員が生徒のために生き生きと働く学校

学校の主役は生徒と教師。

その人数分の命があり、命と同数の心がある。

すべての命と心が光り輝く場所づくりこそが我々の Mission!

- **生徒第一主義**
- **良好な学習集団づくり**
- **「わかる・かかわる・できる」授業の実践**

「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」

● 目指す生徒像：一人一人が輝いている

○ 毎日を心から楽しむ

「～が楽しかった」「～頑張れた」「～ができるようになった」「みんなで～した」

○ 目を輝かせて、やりたいことを言える ○ 信頼しあえる ○ 自分が好き ○ 認め合い、助け合い、分かち合える

「ありがとう」「どういたしまして」「ごめんなさい」「いいよ」「助けて(お願い)」「どうしたの(どうしてほしいの)」

○ 当たり前前かが当たら前に自信をもってできる

あいさつができる 「ひと・もの・こと」を大切にできる 頑張れる 続けられる

凡事徹底(語先後礼、靴をそろえる、ごみを拾う、椅子をしまう)

自分がされて嬉しいことをする 相手が嫌がったことは二度しない

● 目指す教師像：生徒のために生き生きと輝いている

○ 生徒第一主義を貫く(常に、生徒のため) ○ 願う生徒像をすべて体現できる

○ 夢を語り、生徒の目標となり、生徒が夢を抱ける ○ 教師という仕事を楽しみ、やりがいを持ち、心身ともに元気

○ 生徒にしてあげたいことが尽きず、思いを伝え、実行できる

○ 生徒を理解し褒め、生徒の心に火をつけ、良さを伸ばす ○ 生徒の成長を喜び、生徒とともに成長する

○ 授業で「わかる」「かかわる」「できる」を通し、生徒の「発見」を大切にする

○ 気づきを大切に、常に進化・変化を目指す ○ 保護者・地域と協力できる

★ 体罰・暴言・不適切な指導 ZERO 宣言「しない・させない・許さない」

☆ 管理職は教職員が輝くために、働き方改革をします

I はじめに

第五中学校の教職員の皆様へ

校長 生田目 将

令和元年度の開校 50 周年行事および全国安全教育研究発表会の取組及び大成功に感謝いたします。これまでの五中に関わられてきた方々の思い及び実践並びに歴史を大切にし、これからも生徒が輝きながら大きく成長していくことで、本校がさらに発展していく令和 2 年度になるよう「Team 五中」の生徒や教職員のみなさん自身が創造していく学校にしましょう。

50 周年の記念誌の 10 周年次の生徒会長の言葉に「創造なき伝統は陳腐である」という一節があります。ウォルトディズニーも「現状維持は後退である」と言っています。この考えに私は共感し、常に自分自身を叱咤します。生徒も教職員もマンネリ化せず、常に新しい何かを楽しく考えていってほしいと願います。現在の学校現場における労働条件の劣悪さを改善することも切望します。ビルド&ビルドの学校教育を少なくとも「2 スクラップ 1 ビルド」の形にもっていくことが重要です。それをともに考えていく「Team 五中」を目指しましょう。

☆そして「生徒が輝く学校」「保護者が生徒を通わせたい学校」「教職員が生徒のために生き生きと働く学校」をつくりましょう。

私の教育理念は

上記からも分かるように「生徒第一主義」です。

もう一つは

「良好な学習集団では、学力が向上し、いじめ・体罰は起こらない」

という考えです。ですから「良好な学習集団づくり」が私の学校経営の軸です。

良好な学習集団とは、各教科で主体的・対話的に学習活動を行い、その話し合いを通して自分の考えを深めていく、合唱コンクールや体育大会に真剣に取り組める、部活動やボランティア活動に積極的であるなどを考えます。その集団づくりを教職員のみなさんの一人一人が携わる教育や得意な方法で推進してください。

そして、その学習集団の全容が五中という学校になります。

その実現のために

☆生徒、保護者、教職員、地域、関係者の合言葉として

「安全・安心」「心身の健康」「清潔で整った教育環境」「人権感覚の醸成」「レジリエンス（耐性）」「当たり前のことが当たり前に見える」などをあげます。

☆教育に関わるものとしての共通意識は

「生徒第一主義」「1 対 40 の指導から 1 対 1 を 40 回の意識」「温かく甘くない」「厳しく冷たくない」「公平な関わり方」「親切丁寧」です。

☆絶対に心がけるサービスの厳正について

「適正な個人情報管理」「わいせつ・ハラスメントの防止」「飲酒による信用失墜行為の防止」「体罰・暴言・不適切な指導の防止」「不適切な通勤経路関係の防止」「金品の不正受給の防止」などを厳守し本校からサービス事故を出さないという覚悟が全教職員に必要不可欠です。

最後に、体罰・暴言・不適切な指導・いじめは決して許しません。全教職員で毅然と取り扱います。

全教職員で「体罰・暴言・不適切な指導 ZERO」「いじめ ZERO への挑戦」を宣言します。

II 学校経営の基本

21世紀を生き、次代を担う

「自ら学ぶ生徒・心と体を鍛える生徒・思いやりと助け合う心をもつ生徒」

を育てるために、7項目からなる経営方針を掲げ指導の重点化を図る。

- 1 豊かな「知性」を育てる教育の推進
- 2 豊かな「感性」を育てる教育の推進
- 3 豊かな「社会性」を育てる教育の推進
- 4 開かれた学校づくりの推進
- 5 特別支援教育の推進
- 6 健やかな心身の育成
- 7 安全・安心な学校づくりの推進

III 学校経営の重点

1 義務教育を託されている公立中学校の使命を果たす。【生徒に対して】

(1) 生徒一人一人の学習意欲を高め、体力向上を図る。

(知性・特別支援教育・健やかな体)

- ① 主体的・対話的で深い学びを実現し思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫、評価の質的向上を図る。
- ② スポーツに親しむ心を醸成するとともに体力の向上を図る取組を推進する。

(2) 心の教育の充実、生命を尊重し共に助け合って生きる態度を育成する。

(感性・特別支援教育)

- ① 生徒一人一人を大切にした指導を充実させ、自己肯定感をもてるようする。
- ② 生命の大切さを理解させ、他の人の立場に立って行動できる心と態度を育成する。

(3) 豊かな体験活動を充実させ、心身ともに健康に生きる態度を育成する。

(感性・社会性)

- ① 特別活動（生徒会・行事・学級活動）や総合的な学習の時間を通じて、生徒の自治的能力を向上させる。
- ② 学校行事や部活動を通して健康の増進と体力の向上を図る。

(4) 生徒指導の充実を図り、自己指導能力の向上を図る。(社会性・安心・安全)

- ① 礼儀作法等の基本的習慣の定着、いじめ撲滅など適切に判断し行動するための自己指導能力を育成する。
- ② 危険を予測し回避する能力や他者や社会の安全文化構築に貢献できる資質・能力を身に付けさせる安全教育を行う。

2 教育の充実・発展に挑戦し、組織が機能する学校を目指す。【教職員に対して】

(1) 組織を十分に機能させ、迅速、円滑な学校運営を目指す。

- ① 学校運営を円滑かつ効果的に推進させるために、調整委員会を定期的実施する。
- ② モチベーションアップのためのリーダーシップ、チームワークにより課題解決を戦略的に行う。

(2) 教育専門職として、研究・研修を大切にし、ともに高め合う学校をつくる。

- ① 調布市公立中学校教育研究会（調中研）に積極的に参加し学校教育の向上に努める。
- ② 道徳科では「考え、議論する道徳」を行うための指導方法の工夫、改善に努める。

- (3) 校内配当予算を適正に実施させる。また、事務処理の効率化を図る。
- ① 事務処理の効率化を高めるために、ICT の活用を推進する。
 - ② 予算の伴う改善については、優先順位をつけて執行していく。
- 3 開かれた学校を目指し、地域の信頼を確かなものにする。【家庭・地域対して】
- (1) 保護者・地域・関係機関との連携プレーを推進する。
- ① 学習指導、生徒指導（含特別指導）、安全教育等で地域の人材の有効活用を図る。
 - ② 小中の連携を強化し、PTA行事、地域行事等への生徒参加を促し、地域の一員として自覚をもたせる。（特に地域防災行事への生徒の参加促進）
- (2) 教育活動アンケート等により保護者や地域の評価を教育活動の改善に活かす。
- ① アンケート結果により改善点を明らかにし、四半期毎の経営状況報告で改善点を示す。
 - ② 学校の個性化・特色化を図るために学校評議員会及び評価委員会からの意見を活用する。
- (3) 教育公務員としてのサービスの厳正に努め、地域からの信頼に応える。
- ① 「調布第五中学校の服務規程」に従い、サービスの厳正を徹底する。
 - ② 教職員の人権感覚を磨き、特に「体罰」は絶対に許せないという学校の風土を確立させる。

IV 令和2年度 重点指導内容

「わかる・かかわる・できる」授業の実践

「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「何ができるようになるのか」

- 1 豊かな知性を育てる教育
 - 各教科で必ず身に付けなければならない内容の焦点化
 - 家庭学習・繰り返し学習の徹底（学習習慣の未定着生徒へのはたらきかけの強化）
- 2 豊かな感性を育てる教育
 - 音楽教育・美術教育などの教育活動を通じた感性や思いやりの心を育成
 - 歌唱・合唱指導と書写、美術、技術・家庭等の作品制作、朝読書を通じた感動体験
- 3 豊かな社会性を育てる教育
 - あいさつ・集団規律（時間厳守）・マナー指導の徹底（特に全校、学年集会、朝読書）
 - 生徒会・各委員会活動による自治的能力の向上
 - 自己指導能力、共助の精神の育成
- 4 開かれた学校づくりの推進
 - 地域活動への積極的参加及び学校地域支援本部事業の推進
 - 学校評議員、評価委員からの意見活用
- 5 特別支援教育の推進
 - 特別支援校内委員会の充実
 - 特別支援教室導入への準備
- 6 健やかな心身の育成
 - 「オリンピック・パラリンピック教育推進校」の取組
 - 豊かな国際感覚を身に付けさせる取組

7 安全・安心な学校づくりの推進

- 特別指導、管理内外の事故、いじめ発生を限りなく0に近付ける取組
- 生徒も教職員も安心して生活できる学校、学級づくり

V 令和2年度 月毎の指導の重点と目指す生徒の姿

4月	<p>「基本的な生活習慣を確立して秩序ある学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 時間を大切にする。 2 規則を守らせ、マナーを向上させる。 3 時と場に応じたていねいなあいさつを行い、気持ちよい学校生活を送る。 	
5月	<p>「すべての生徒に居場所がある笑顔のあふれた学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学級での「居場所作り」を行う。 2 思いやりの心を育てる。 3 教育相談の充実を図る。 	
6月	<p>「学習意欲を向上させ、学習に真剣に取り組む学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習の「目標」を明確にする。 2 どの授業にも真剣に取り組む。 3 苦手な教科や、補充が必要な学習に主体的に取り組む。 4 家庭学習(予習・復習)を定着させる。 	
7月	<p>「自己理解と目標作りを行い、個性が輝く学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1学期を反省し、次の課題を明確にする。 2 夏休みの計画や目標をしっかりと立てる。 3 日頃できないことに挑戦する。 	
9月	<p>「基本的な生活習慣を取り戻し、秩序ある学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2学期の課題を明確にもち、規則正しい学校生活を心がける。 2 挨拶の励行を通して、気持ちよい学校生活を過ごす。 3 夏休みに取り組んだ「学習」「スポーツ」の成果を発揮する。 	
10月	<p>「思いやり・マナー・規範意識を大切に、 集団モラルの高い学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 思いやりのある優しい気持ちで学校生活を過ごす。 2 公共のマナー(登下校を含む)を守る。 3 規範意識を高め正しい判断力を身に付ける。 4 合唱コンクールを成功させ、生徒に達成感をもたせる。 	
11月	<p>「落ち着いた学習環境を整え、全力で学習に取り組む学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教室の環境整備を再点検をする。(・掲示物 ・清掃状況) 2 教室での言語環境を整える。(・言葉遣い ・発言方法) 3 これまでを振り返り家庭学習の課題を明確にする。 	
12月	<p>「自分を振り返り来年に向けて、夢や希望に満ちあふれる学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今学期を振り返り、反省した点や評価された点を深く考える。 2 来年の「目標」を決めて、具体的に取り組む。 3 冬休み中も規則正しい生活を送る。(・早寝 ・早起き ・朝ごはん) 	
1月	<p>「新年の目標に向かって、一人一人が努力できる学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「新年の抱負や目標」を達成するために具体的に行動する。 (1)1,2年生は新学年の準備 (2)3年生は卒業に向けての準備 2 基本的な生活習慣を取り戻す。 3 自分から進んで挨拶をする。 	
2月	<p>「輝く進路に向かって、進級に備えて、ステップアップできる学校を目指す。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自己を振り返り1年間の学習をまとめを行う。 (1)得意な教科と苦手な教科を再確認する。 (2)家庭学習の状況を振り返り、今後の課題を明確にする。 2 係や委員会活動について再点検する。 3 自己の健康を管理し、健康的な生活を送る。 	
3月	<p>「1年間を振り返り、新年度に引き継ぐ。 学校全体で感動的な卒業式をつくりあげる。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1年間の学習や生活のまとめをしっかりと行い、進級・卒業の準備をする。 2 卒業式を成功させ「母校愛」と「帰属意識」を養う。 3 新年度の「目標」を立てる。 4 学習成果発表会を成功させ、生徒に達成感をもつ。 	

学校の教育目標

- 1 自ら学ぶ人になろう
- 2 心と体を鍛えよう
- ③ 思いやりと助け合う心をもとう

□ ■ 重点的に育みたい資質・能力 ■ □

社会生活における課題や問題を自ら発見し、他者と協働して解決しようとする態度や新たな考えを創造し実行しようとする力 (傍線は教育目標との関係を表す)

教育課程の実施により育成しようとするさまざまな資質・能力

知 識 ・ 技 能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性

「見方・考え方」を働かせ教科横断的・総合的に育成	各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成 ・ 個に応じた指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「見方・考え方」を働かせた、より質の高い深い学びにつなげる授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者と協力・協働しながら課題を解決する力の育成 ・ 新たな価値を創造する力の育成
	特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の生命の尊重、互いを思いやる心の育成 ・ いじめ、差別、偏見等を許さない指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の感性や知的な興味などに訴え、生徒が問題意識をもち、主体的に考え、議論する指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな人間性や創造力、感性等を育むための活動の推進 ・ 家庭、学校、地域社会が協力して取り組む教育の推進
	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアマインド、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚の育成 ・ 望ましい勤労観、職業観、主体的な進路選択能力を育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の生き方を考えていくための資質や能力の育成 ・ 積極的に社会に参画し、よりよい社会を構築しようとする態度の育成
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自他の個性の理解と尊重と協力 ・ 多様性の理解 ・ 集団や自己の課題発見 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動、生徒会活動、学校行事における課題解決に向けての話し合い、合意形成、意思決定システムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成までのプロセスを重視した指導 ・ 異年齢集団による各活動の活性化

カリキュラム・マネジメントの確実な実施



授業の質的改善
良好な学習集団の形成

